

実中研の再生医療にかける覚悟と グローバル実装拠点・殿町の今後の展望

2020年10月15日

公益財団法人実験動物中央研究所 理事長 キングスカイフロントネットワーク協議会 会長

野村 龍太





実験動物中央研究所について

- 歴史と概要
- 世界標準を生み出し発信する民間の公益財団研究所
- ・2011年第一号として殿町・キングスカイフロントへの進出
- 再生医療へのコミットメント
- 第3回日本健康医療開発大賞受賞
- ・競争と協調のバランス経営



実験動物中央研究所について

名 称 公益財団法人 実験動物中央研究所

Central Institute for Experimental Animals

所在地 川崎市川崎区殿町3丁目25-12

創設者 野村達次 (1952年設立)

文化功労者・勲二等瑞宝章・紫綬褒章

理事長 野村龍太

所 長 伊藤 守

構成員 所員:112名

派遣•外部共同研究員:60名

合計 172名 (2020年4月1日現在)

ポリオマウス



rasH2マウス



NOGマウス



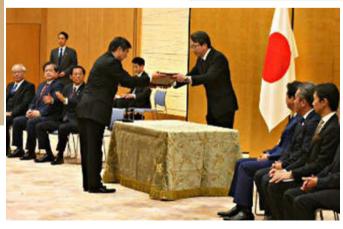
遺伝子改変マーモセット



実中研 再生医療・新薬開発センター CIEA Regenerative Medicine and New Drug Development Research Center

先陣を切って進出した当時の殿町







殿町・キングスカイフロントの現状

殿町国際戦略拠点キングスカイフロントにおける拠点形成の状況 69機関が進出決定(2020年4月1日時点) 羽田空港跡地 第1ゾーン(約16.5ha) ·土地区画整理事業(UR)【道路·公園·駅前広場】 ·第一期事業(約5.9ha) 事業主体:羽田みらい開発株式会社(出資企業9社) 羽田空港跡地 第2ゾーン (約4.3ha) 延床面積:約125,400m² <H32年6月までに開業予定> 主要用途:研究開発施設(ラボ・大規模オフィス)、先端医療研究センター 羽田空港エアポート都市開発(株)(住友不動産等) 事業地 会議場、イベントホール、日本文化体験施設、飲食施設、研究・ 宿泊施設(約1,700室)、バンケットルーム(600名) 研修滞在施設、水素ステーション等 まち開き、 飲食・物販等商業施設、バスターミナル等 天空橋 設計施工者:鹿島建設、大和ハウス工業 2022年 川崎生命科学・環境研究センター 羽田空港 富士フイルム富山化学(株) ナノ医療イノベーションセンター (LiSE) (0.7ha) 国際旅客ゾー IIII崎ラボ(0 3ba) (iCONM) (0.8ha) 2013(H25)年3月運営開始 2017(H29)年6月運営開始 2015(H27)年4月運営開始 羽田で海国際線ターミナル駅 旅客ターミナルビル CYBERDYNE(株)(1.5ha) 2014(H26)年8月進出決定 国際線ビル駅 ジョンソン・エンド・ジョンソン 実験動物中央研究所(0.6ha) 日本アイハトープ協会 川崎技術開発センター(1.0ha) 2011(H23)年7月運営開始 インスティテュート 2017(H29)年6月運営開始 (東京サイエンスセンター)(0.3ha) 2014(H26)年8月運営開始 2020年を目指した整備推進 (H29年9月30日起工式) 川崎キングスカイフロント 東急REIホテル(客室数:186 ライフイノベーションセンター (LIC)(0.8ha) 2016(H28)年4月運営開始 リサーチゲートビルディング(RGB2) 2017(H29)年10月運営開始 ●川崎市キングスカイフロント ヨドハシカメデ マネジメントセンター ●慶應義塾大学 殿町第2公園 国道40 号 殿町タウンキャンパス ●東京工業大学 中分子IT創薬研究拠点 ヨドハシカメデ ●神奈川県立保健福祉大学 大学院ヘルスイノベーション 研究科(2019(H31)年4月~) ANA ペプチドリーム(株)(0.5ha) 2017(H29)年8月運営開始 国立医薬品食品衛生研究所 クリエートメディック(株) 全日本空輸㈱ ANA殿町ビジネスセンター(3.0ha) 2018(H30)年3月運営開始 研究開発センター(0.3ha) 2016(H28)年6月運営開始 (株)島津製作所 2011(H23)年運営開始 ●管理棟 2019(H31)年1月進出決定 JSR(株)(0.3ha) 川澄化学工業(株)(0.4ha) 2014(H26)年7月運営開始 2017(H29)年1月進出決定 2017(H29)年1月進出決定 (株)ヨドバシカメラ

リサーチゲートビルディング(RGB1)

2018(H30)年2月竣工

●セブンイレブン(コンピニ)

●川崎殿町郵便局 ●ラボ等(今後入居予定

日本メドトロニック(株)

メドトロニックイノベーションセンタ・

2017(H29)年9月運営開始

殿町プロジェクトⅢ

工期:2019年1月~

延床面積:約10,000m

構造・規模:鉄骨造4階建て

用途:研究施設・事務所

アッセンブリセンター(14.9ha)

2005(H17年)事業開始

2017(H29年)2月増設

:進出決定

:整備済及び運営開始済



殿町キングスカイフロントの発展

第1フェーズ: 2011年-2018年

まちづくり構想策定 進出機関・企業の誘致 地域住民からの理解と協力を 得る為の活動

国の機関への広義の広報活動

第2フェーズ: 2013年 - 現在

顔の見える関係づくり 現場発のネットワーク作り (キングスカイフロントネット ワーク協議会) 第3フェーズ: 2018年-現在

まちに血液を流し魂を注入 進出機関・企業の連携による ビジネス並びに事業の構築 研究・開発活動の国内各地・ 海外との連携の拡大



再生医療の社会実装に向けた殿町での展開



殿町再生医療用細胞の生産・供給拠点の構築

再生細胞医療の東の拠点 慶應義塾大学再生医療 モデル病院(信濃町)

臨床研究中核病院 iPS細胞等臨床研究モデル病院 川崎市殿町のライフイノベーション センター内に、再生医療用特級細胞 の生産・供給拠点 (仮)



リプロセルとの連携

拠点病院の機能を活用し体制・手順を整備

- 病院内倫理審査委員会(IRB)組成
- ・ 手術余剰サンプルの調達手順整備
- 商業利用可能なICの取得手順整備

信濃町

- 病院内CPCでの初代培養
- ・ ドナー情報の記録、保管
- 匿名化した品質情報の保管と共有
- 細胞の出荷、搬送手順の構築



• 原料細胞受け入れ、記録、 保管体制の構築

殿町

• 匿名化した品質情報の共有



- 細胞加工
- スケールアップ 技術開発



実中研・理研・神奈川KISTEC・国衛研による最強の再生医療安全性検査体制

殿町再生・細胞医療品質評価基盤の構築



特級細胞の品質を保証する「殿町独自の品質評価サービス」で産業力強化に貢献



他地域との連携



殿町における再生医療細胞品質評価基盤

実中研生物材料品質評価センター

コンサルテーション体制

依頼者の要望に応じたサービスの提供

安全性試験

非GLP試験 評価センターにて実施 GLP試験 中他CROとの協業





有効性試験

殿町ならではの試験系確立 国衛研、理研、KISTEC、 ダナフォームとの共同開発



グローバル実装拠点・殿町の今後の展望

新薬開発・再生医療等医療分野に於ける日本そして世界の研究・開発、更には 実装の中核拠点を目標に常に挑戦

研究成果、事業化実績等の結果を世の中にしつかり見せていく拠点へ

『ドライバーズシートに座り、アクセルを踏み続ける行政』と『仕事にコミットする 進出機関メンバー』が協力し、出口を見据えた事業の構築

世界中の人々が利用するインバウンド・グローバル拠点を目指す